

西田さんが再選



選挙号外

竜王町長選 投票率 63・17%



竜王町長選で再選が確定となり、万歳三唱で喜ぶ西田秀治さん（中央）

◇竜王町長選確定得票

当 4,271	西田	秀治	無現②
1,762	佐橋	武司	無新

にしだ・ひではる 2016年の竜王町長選で初当選。国道8号(東近江区間)整備促進期成同盟会副会長、日野川流域土地改良区副理事長なども務める。

竜王町長選は十四日、投るまちづくりを進める」と開票され、無所属現職の西田秀治さん(68)が、無所属新人で元県議の佐橋武司さん(71)を破り、再選を果たした。投票率は63・17%。当日有権者数は九千七百二十八人。

西田さんは自民、公明の推薦のほか、町内の企業や各種団体から幅広い支持を集めた。町議は十二人のうち正副議長を含む八人がフル稼働。小寺裕雄衆院議員や地元県議三人、近隣市町の首長、地元の西川自治会の支援を受け、手堅く票を固めた。十一日に緊急集会、十三日に決起集会を開き、組織を引き締めた。

役場周辺に商業、医療、教育、公園などの施設を集約し、利便性を高める「コンパクトシティー化構想」を掲げ、来年で築五十年を迎える竜王小学校校舎を移転新築して「次世代に誇れ

透しきれなかった。西田さんは滋賀大卒。住友海上火災保険(現三井住友海上火災保険)に入社し、各部長職や常務執行役員を歴任。関連子会社の社長、造幣局理事を経て、前回の町長選で初当選した。一方、佐橋さんは町職員や県議時代の実績をアピールし、新型コロナウイルス感染症対策で住民一人当たり三万円の給付をはじめ、竜王小の移転中止を主張した。出馬表明が今月三日と出遅れた上、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため夜の個人演説会を見合わせた影響も響き、支持が浸